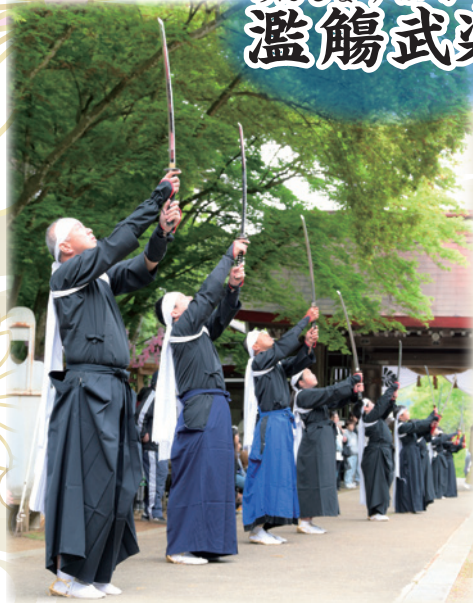


ふるさとに伝わる歴史と伝統を未来へ

らんじょうぶがく
濫觴武楽



霊山神社春季例祭



新緑の季節を迎えた霊山神社で、春季例祭が行われました。北畠顕家きたばたけあきいえらの武運長久を祈って奉納したのが始まりとされる「濫觴の舞」。

凛々しいはかま姿で太刀を天空にかざしながら進む姿はとて迫力があり、参道に集まったたくさんの参拝客を魅了しました。

箱崎の獅子舞

愛宕神社例大祭



戦国時代の天文年間から続く「箱崎の獅子舞」は、福島県の「重要無形民俗文化財」に指定され、およそ500年の歴史があります。

今年も愛宕神社の境内には多くの観客が集まり、舞の観覧や獅子舞との交流を通して箱崎の伝統文化を肌身で感じていました。



高子二十境巡りウォーク



江戸時代中頃の文人「熊坂覇陵くまざかぱりょう」が、高子村（現保原町）を中心とした20カ所の景勝地を詩にして詠じたことが始まりとされる『高子二十境』。そんな高子二十境の一部を案内人と共に巡るウォークイベントが開催され、約60人の参加者が歴史ある絶景を堪能しました。